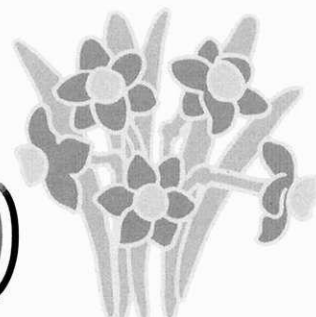


和泉市議会だより



市の花「すいせん」

令和2年第1回定例会を2月20日から3月25日までの35日間の会期で開催しました。

令和2年度当初予算(案)は、(仮称)榎尾学園整備、中学校体育館空調設備整備、新庁舎整備、和泉中央駅・北信太駅の駅前整備など、教育、安全・安心、にぎわいのあるまちづくりなどの分野を中心に予算拡充し、一般会計においては727億円という過去最高の当初予算案が提案されました。

また、令和2年4月からの機構改革に伴い、常任委員会の所管及び名称を変更する議員提出議案と市が発注する建設工事等の契約変更手続の効率化及び明確化を図るため、市長の専決処分に係る金額の上限額を引き上げる改正を行う議員提出議案を含む計56件の議案等を慎重に審査いたしました。

令和2年第2回定例会は6月10日開会の予定です



議場風景(令和2年2月20日)

目 次

○大綱質疑	市長の市政運営方針に対して行う質問	P.2～3
○常任委員会審査報告	付託案件の審査結果	P.3
○議員提出議案	議会の議決を経るため議員が議会に提出する案件	P.3
○審議結果一覧表	上程議案の可否	P.4
○令和2年度予算審査概要	予算審査特別委員会での質問・討論	P.5～6
○一般質問	市政全般にわたる質問内容	P.6～9
○第2回定例会の予定等	市議会からのお知らせ全般	P.10



大綱質疑

市長の市政運営方針に対し、会派を代表して質問することで、今回は5人の議員が行いました。
ここではその内容を一部要約して掲載しています。



異常なマイナンバー
カード普及計画
日本共産党
原 重樹

問 国の「マイナポイント事業」は消費税増税に対する消費対策を逆手に取ったマイナンバーカード普及作戦である。

答 本市も市民にとって必要なサービスセンターを廃止して、コンビニの利用を促進させようとしているが、コンビニ利用にはマイナンバーカードが必要である。市民にとって必要な施設を廃止して、それを逆手にとってまで、マイナンバーカードの普及を市民に迫るのか。

答 市は国が掲げる「安全・安心で利便性の高いデジタル社会と公平で効率的な行政の構築を目指す」という方針に沿って、マイナンバーカードの取得促進を図っていく。

意見 私は手段・やり方の問題を質問した。

本市のやり方ではマイナンバーカードの交付率を上げるために、サービスセンターを廃止するようなものだ。

施設の廃止までして、市民を追い込んでまで、やるべきものではない。



中学校体育館の空調設備・
学校適正配置について
大阪維新の会
松本 利裕

問 一般質問でも要望させていただいた広域避難所である中学校体育館への空調設備の設計業務について考え方を問う。

答 災害時の広域指定避難所である中学校及び義務教育学校の体育館に空調設備を設置することで避難所環境を良好にすることを目的にしている。

問 富秋中学校区における学校適正配置については、施設一体型義務教育学校の導入をめざすこととされている。合意形成に向けた地域調整を行うとのことだが、具体的な見通しについて問う。

答 PTA・町会などの意見交換や地域説明会を計画し、その機運を確認しながら保護者アンケート調査、和泉市適正就学対策審議会への諮問をめざす。

要望 富秋中学校区における学校適正配置については、まちづくり構想と連携しすめられるものと考えているが、校区の児童・生徒数の減少は本当に深刻で喫緊の課題であるため早期の実現を強く要望する。



令和2年度
市政運営方針について
公明党
末下 広幸

問 子育て・教育の充実について、ICTを活用した取り組みについて伺う。

答 児童生徒一人1台のコンピュータ整備を前提に通信環境を整備し、活用を進める。

問 駐輪場の学割制度の実施について伺う。

答 令和2年4月1日より、市営駐輪場で自転車定期利用の20%割引を実施する。

問 医療・福祉の充実について、「高齢者おでかけ支援チケット」について伺う。

答 満75歳以上の方に一人当たり2000円券10枚綴り年間2,000円分を交付する。

問 防災・防犯の充実について、避難所になる中学校体育館の空調整備について伺う。

答 令和3年度までに設置工事を実施する。

問 避難場所の確保について伺う。

答 町会・自治会館等を地域からの申請に基づき登録し、市が事前に支援することで、迅速に避難できる場所を確保する。



市民18万6千人の重み
五月会
森 久往

問 市民18万6千人の重みの市政運営方針。数々の実績のなか、置き去りの市民はいないか。政治信条を踏まえ取り組み事例を確認する。

答 信頼感、躍動感、親近感の政治信条のもとに、市民・行政がそれぞれの持つ強みを生かし相乗効果を生み出す「和泉創発プラン」を実施する。又、「富秋中学校区等まちづくり構想」では、アンケートなどを行い、地域の意見を集約するなど事業手法を検討する。「和泉市手話言語の理解及び普及並びに豊かなコミュニケーションの促進に関する条例」については、意見等を考慮し施策を進めていく。

要望 運営の為の運営になっていないか。地域に住んできた市民が住み続けるための声なしでのまちづくり計画は実を伴わない。又、手話言語の理解という言葉の存在が、手話が理解されていないことを意味し、手話を知らない人が法律や条例を決めてきた経緯が70年以上にわたっていることを知る必要がある。



行財政改革計画「和泉
創発プラン」の推進
明政会
山本 秀明

問 令和2年度より新たな行財政改革計画「和泉創発プラン」を策定し実施されるが、「市政の新たなステージに導く取り組み」とは何をさすのか。また、市営住宅の大幅削減等を含む、同プランを推進して行く市長の不退転の思いを示されたい。

答 長期的な視点に立った「公共施設マネジメントの推進」を実行に移していくことが、新たなステージに導く取り組みと考えている。また、「和泉創発プラン」は将来の本市にとって必要な取り組みであり、目標達成に向けて、着実に取り組んでいく。

要望 私「和泉創発プラン」の内容は、本市の未来に向けた必要不可欠な取り組みであると認識し評価もしている。市長の強い思いとリーダーシップで着実に進めてほしい。また、●高齢者おでかけ支援制度●中学校体育館の空調整備●和泉中央駅前広場改修工事等、会派要望した事業を新年度に予算化していただけた事に評価と感謝をする。今後の着実な実施を要望する。

常任委員会 審査報告

第1回定例会において委員会付託された議案等の審査内容を一部要約して掲載しています。

総務安全委員会（現・総務企画委員会）

2月28日に開催し、「和泉市コミュニティ供用施設設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について」、「財産の無償譲渡について（伏屋町会館）」、「財産の無償譲渡について（尾井町山ノ谷会館）」、「財産の無償譲渡について（東阪本町会館）」は関連する議案として一括議題とし、防衛省からの譲渡基準について質疑を交わすなど計8件の議案を審査し、いずれも全会一致で可決しました。

都市環境委員会

2月27日に開催し、「和泉市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について」、国の補正予算に伴い、マイナンバーカード交付事業負担金を追加計上した「令和元年度和泉市一般会計補正予算（第5号）」のうち都市環境委員会所管分についてなど4件の議案を審査し、いずれも全会一致で可決しました。

厚生文教委員会

2月26日に開催し、「令和元年度和泉市一般会計補正予算（第5号）」のうち厚生文教委員会所管分については、小学校施設維持管理事業のブロック塀改修工事が計上されていることから、改修状況について質疑を交わし、全会一致で可決しました。その他、4件の議案及び1件の請願を審査し、請願を除き、全会一致で可決しました。

和泉市議会委員会条例の 一部を改正する条例制定について

令和2年4月からの機構改革に伴い、常任委員会の所管及び名称を変更する議員提出議案を提出し、全会一致で可決しました。

これにより、常任委員会の名称を「総務安全委員会」から「総務企画委員会」へ変更しました。

各常任委員会の所管については以下のとおりです。

総務企画委員会	市長公室、総務部、会計室、 市議会事務局、行政委員会総合事務局
都市環境委員会	環境産業部、都市デザイン部、 上下水道部、消防本部
厚生文教委員会	福祉部、市民生活部、 子育て健康部、教育委員会

市長の専決処分事項 に関する条例の一部を 改正する条例制定について

市が発注する建設工事等の契約変更手続の効率化及び明確化を図るため、議会の議決を経て締結した工事又は製造の請負契約について、市長の専決処分に係る金額の上限額を1,500万円から5,000万円に引き上げる等の改正を行う議員提出議案を提出し、全会一致で可決しました。

議員提出議案の条例改正2件を可決

定例会審議結果一覧表

件名		委員会	本会議
令和2年度和泉市当初予算 ・一般会計 ・国民健康保険事業特別会計 ・後期高齢者医療事業特別会計		可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
令和2年度和泉市当初予算 ・公共用地先行取得事業特別会計 ・介護保険事業特別会計 ・浄化槽事業特別会計 ・水道事業会計 ・病院事業会計		可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和2年度和泉市公共下水道事業会計予算		可決(全会一致)	可決(賛成多数)
和泉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市職員定数条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市特定の場所における路上喫煙の制限に関する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
堺市と和泉市との間における学齢児童及び学齢生徒の教育事務の委託に関する規約の変更に関する協議について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市手数料条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について		可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
和泉市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市コミュニティ供用施設設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
財産処分について(唐国財産区財産)		可決(全会一致)	可決(全会一致)
財産の無償譲渡について(伏屋町会館・尾井町山ノ谷会館・東阪本町会館)		可決(全会一致)	可決(全会一致)
損害賠償の額の決定について(水路管理瑕疵による事故)		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例制定について		可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和元年度和泉市一般会計補正予算(第5号)	【総務安全所管分】	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	【都市環境所管分】	可決(全会一致)	
	【厚生文教所管分】	可決(全会一致)	
令和元年度和泉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和元年度和泉市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和元年度和泉市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和元年度和泉市公共下水道事業会計補正予算(第2号)		可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市立の小・中学校で35人以下学級の実施を求める請願		不採択(賛成少数)	不採択(賛成少数)
【3月25日追加議案】令和元年度和泉市一般会計補正予算(第6号)			可決(全会一致)
【議員提出議案】和泉市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について			可決(全会一致)
【議員提出議案】市長の専決処分事項に関する条例の一部を改正する条例制定について			可決(全会一致)
【議員提出議案】災害現場の最前線で人命救助、支援活動に尽力する自衛隊の人員確保のためのさらなる待遇改善を求める意見書			可決(賛成多数)
上記の他、議案1件、報告3件、監査報告10件、意見書4件をそれぞれ可決等しました。			

令和2年度当初予算 総額約1,281億円を可決

前年度当初予算比

- ◇一般会計 727 億円 (12.9%増)
- ◇特別会計 約 385 億円 (約 3.1%増)
国民健康保険事業、公共用地先行取得事業、
介護保険事業、後期高齢者医療事業、浄化槽事業
- ◇企業会計 約 169 億円 (約 18.1%増)
水道事業、公共下水道事業、病院事業

◆委員会構成◆

◎：委員長、○：副委員長、委員は議席順に掲載

◎杉本 淳	○松田 義人	山本 秀明
スベル・デルフィン	小野林治三夫	早乙女 実
関戸 繁樹	永田 香織	石原 日出子
松本 利裕	遠藤 隆志	友田 博文



予算審査特別委員会での質問項目

- ◇谷山池の伝承文化について
- ◇結婚新生活支援補助金について
- ◇庁舎整備用備品購入費について
- ◇サービスセンター証明書受付交付事業について
- ◇こども医療費助成の18歳までの拡充時期について
- ◇若年者在宅ターミナルケア支援助成費について
- ◇ロタ予防接種委託料について
- ◇リサイクルプラザの廃止について
- ◇産業集積促進補助金見直しについて
- ◇ものづくり技術・商品開発事業補助金について
- ◇NET119緊急通報システム委託料について
- ◇中学校施設維持管理事業体育館空調設備について
- ◇体育館空調設備の小学校への拡充と財源について
- ◇聖火リレーイベントの実施内容について
- ◇信太山クロスカントリー大会負担金について
- ◇国民健康保険システム構築事業の推進について

- ◇公共施設マネジメント推進事業委員報酬について
- ◇創発プラン(人口推計と出生率)について
- ◇地域防災計画(榎尾川50ミリアド)について
- ◇国勢調査に係る報酬について
- ◇小栗の湯指定管理料について
- ◇各種ガン集団検診における託児所の設置について
- ◇日常ごみ収集運搬委託料について
- ◇いずみ霊園の火葬24時間ネット受付について
- ◇企業BCP策定支援補助金について
- ◇黒鳥山公園駐車場設備管理委託料について
- ◇コミュニティスクール導入の目的と成果について
- ◇小中学校の理科家庭科室への空調設置について
- ◇図書館開館時間短縮について
- ◇ホストタウン交流事業の実施内容について

※委員が行った質問の一部を掲載しています

予算討論

本会議最終日に行われた一般会計及びその他会計の討論を一部要約して掲載しています。採決の結果は審議結果一覧表(4ページに掲載)をご覧ください。

一般会計予算

【賛成討論】

■教育・生涯学習環境の充実では、本市で2校目となる施設一体型義務教育学校、(仮称)榎尾学園の整備に着手。全中学校において、放課後に教員経験者等を配置する(仮称)いずみ寺子屋を開設。出産・子育て環境の充実では、待機児童解消への取り組みとして北西部地域の認定こども園整備を支援。健康・福祉施策の充実では、75歳以上の高齢者のおでかけ支援事業として、公共バスまたはタクシーを利用して、公共バスまたはタクシーを利用して、若年の末期がん患者及びその家族の負担軽減を図るため、在宅サービスの利用料の助成への取り組み。にぎわいのまちづくりでは、快適に安心して利用できる駅前空間の確保を

【反対討論】

■研修内容としてふさわしくない自衛隊体験研修予算を計上。また、毎年指摘しているが、大阪府人権啓発・人材養成事業や和泉市人権協会助成金が例年どおり計上されている。学校給食の民営化を新たに青葉はつが野小学校に導入するための委員報酬を計上している。

■1枚のカードに全ての情報を集める高リスクのマイナンバーカードの普及促進事業費が含まれている。
(次ページへつづく)

泉州東部区域農用地総合整備事業は4つの農業団地間で土地利用度にばらつきが存在している。

特別会計予算 企業会計予算

【反対討論】

■国民健康保険事業

賦課限度額55万円を61万円に引き上げる改定で、直接の保険料の引き上げではないが、市民一人あたりの保険料は1,972円の負担増となる。国民健康保険制度都道府県化による保険料統一に向けて進めていること自体が問題で、均等割部分の軽減措置導入を求めるべきである。

■後期高齢者医療事業

2年ごとの見直しで、令和2・3年度は平成30・31年度の保険料率に比べ6,865円の引き上げとなっている。保険料軽減の特例の見直しで段階的に負担増となってきたおり、令和2年度の影響は9千人を超える。市民負担が増大する予算である。

■公共下水道事業

比較的人口が集中し、流域下水道の幹線が敷設される区域は公共下水道での整備を行うとしても、人口密度が低いところはまだ下水道事業を行っていくのは不合理で、将来世代にツケをまわすことになる。

11人の議員による市政全般に関する一般質問の内容を一部要約して掲載しています。

一般質問



惣ヶ池こども
グラウンド
について
明政会
杉本 淳



問 当該グラウンドの地権者、借地料は。

答 平成22年4月1日付けで市と泉大津市及び南王子財産区・王子財産区の間で、続いて泉北水道企業団の間で無償による土地貸借契約を締結した。

問 使用開始されたのはいつ頃で誰が管理を行っているか。

答 「上伯太線道路整備事業対策委員会」での決定を受け、平成22年10月4日付けで「惣ヶ池こどもグラウンド設置要綱」を制定し、「管理運営規程」に基づき、地元町会などで構成された管理運営委員会と「管理運営等に関する協定書」を締結した。

問 当該グラウンドは地方自治法でいうところの「公の施設」に該当するのか。

答 スポーツを通じてこどもの健全な育成に寄与するとともに、市民のスポーツ活動等の振興を図ることを目的に設置した施設であって、広く市民に開放され利用されているもので「公の施設」である。

問 それであるならば「設置要綱」でなく「設置条例」によるものであると考える。故にこの状態をいつまで続けるつもりか。

答 令和2年度末を目処とする泉北水道企業団解散の時期にあわせて、企業団を構成する高石市・泉大津市と協議を行い、本グラウンドの設置条例化に向けて取り組む。



子育て支援について
公明党
石原 日出子



問 保育所等利用希望時、本市における医療的ケア児受け入れの考え方を伺います。

答 医療的ケア児の発達に応じた適切な教育・保育を行うとともに、すべての児童が平等に教育・保育を受け、ともに生き、育ち合い、豊かな人間形成を図ることができるよう、集団保育が可能な範囲で、医療的ケア児の受け入れを進めている。

問 医療的ケア児の安心安全な保育を行うための受け入れ基準のガイドラインを策定しているか。

答 現時点では策定していない。今後、受け入れ体制を整えていく中で、ガイドラインの策定も進めていくことを検討している。

要望 人員体制や環境整備を進め安心安全を確保し明確な保育基準等のガイドラインを策定し、受け入れの充実に努めて欲しい。

問 重症心身障がい児が受けられる訪問入浴サービスは、15歳以上となっているが、今は、中学生や小学校高学年でも体格のいい子どももいる。利用できる年齢について検討していただけないか。

答 年齢制限の撤廃については、かねてより検討しており、準備が整い次第、早期に実施していく。

要望 検討いただいていることをうれしく思う。主に介護者となる母親の負担軽減のため、よろしく願います。



通級指導教室
について

五月会

浜田 千秋



問 通級指導教室では、子ども達にどのような指導を行っているのか。

答 通級による指導を行う教室では、障がいの状態の改善または克服を目的とする指導を行い、特に必要があるときには障がいの状態に応じて各教科の内容を補充するための指導を行っている。

問 指導の成果は。

答 例えば、コミュニケーションが苦手なで、自分から進んで会話をすることができなかった児童が、自信を持って積極的に会話する場面が増えたり、漢字やひらがなが定着しにくかった児童が、絵カードなどを用いて学習していくと定着率が上がったなど多くの成果が報告されている。

要望 支援学級と違い、障がいがあることを見過ごされたり、支援が必要であることに気づかれずにいた子ども達の困難にいち早く気づき、子ども達のありのままの姿を受け入れてもらえる居場所作りと、支援を進めていくことが何より重要である。子ども達が社会に出ても幸せな人生を送ることができるよう、通級指導教室の更なる設置と子ども達の出しているサインに気づくことのできる先生方の育成を要望する。

その他の質問項目

・水道安定供給の必要性について



信太山丘陵について

無会派

小林 昌子



問 丘陵整備に向けNPO団体等が手弁当で保全活動や整備を担っている。活動状況と丘陵の現況や拠点施設の機能と開園時期及び管理者の常駐についての考えは。

答 NPO等で組織する団体が草刈りや場内の散策路整備を月1回程度行い、施設は小学校の環境学習や保全活動のミーティングや公園利用のレクチャー、クラフト等を想定。管理者の常駐か否かは検討中で、開園は最短で令和6年度をめざす。

問 3年前鎌倉市の施設を見学した折、夏場や雨天等に役立つ庇は長くとった方が良いとの助言があった。最近連絡した折は1・4メートルとのことであった。市の考えは。

答 協議会でも議論となり、少し広い庇に加え、可動式のテント設置案も出た。

問 信太5号線の道路計画と費用、完成時期及び横断箇所と安全対策は。

答 信太5号線は道路延長約650メートルで歩道幅員2・5メートル。車道幅員6・5メートルの2車線片側歩道。工事費は文化財調査費を除き約1億5千万円の予定で完成は令和6年度をめざす。又横断箇所は拠点施設入口箇所と5号線中間部分で、確定ではないが横断歩道の設置を検討中。

その他の質問項目

・市内小学校の訪問を終えての課題



市内身体障がい者
手帳指定医師
について

明政会

辻本 孔久



問 身体障がい者手帳を申請する場合、指定された医師がいる医療機関で診断を受ける事になるが、市内に障がい分野ごとの診断してくれる医療機関はいくつあるのか。

答 市内で肢体不自由13軒・視覚障がい5軒・聴覚障がい3軒である。

問 聴覚障がいの医療機関3軒中に大阪母子医療センターが含まれているが小児のみ診断とのこと。そのため大人は実質2軒である。所在地といつから2軒になったのか。

答 上町と府中町で平成24年からである。

問 では、市内に耳鼻科は何軒あるのか、その内中・南部は何軒か。

答 市内に11軒、中部に7軒ある。

問 2医療機関になってから市として何か手立てを講じてきたのか。

答 市として、特段の措置を講じてない。

問 なんの措置も講じていないとはいかがなものか。早急に取り組むべきではないか。

答 市民の利便性を考慮すれば中・南部での指定医師のいる医療機関の確保に取り組むべきものと考ええる。

要望 高齢になれば聴覚に様々な症状が出てくる。中・南部について聞いたが北部、北西部についても決して充実している状況にない。速やかな取り組みを強く要望する。

その他の質問項目

・松尾寺公園について



高齢者おでかけ
施策について

日本共産党

原 重樹



問 高齢者おでかけ支援でバスのＩＣカード「なっち」を買い取る場所は。カードは有料か。コミュニティバス（コミバス）でも使えるのか。

答 南海バス光明池営業所と和泉府中駅で購入でき、３千円分の「なっちカード」を購入すると５００円のデポジットがかかる。コミバスもカードで対応できる。

意見 購入場所も限定され、２千円チケットに現金千円を足さないと購入できないという、使い勝手の悪い制度だ。

問 コミバスの利用者数は１００円から１６０円に値上げされて以後、毎年減少し、総収入額も１００円の時より少なくなっているが、高齢者のおでかけに重要なものであり、１００円に戻すべきではないか。

答 コミバス運賃は当時の路線バス初乗り運賃に合わせた経過があり「高齢者おでかけ支援事業」で負担軽減を図ることができると考えている。

意見 負担軽減と言うが「なっちカード」を作ってから話である。コミバス料金を１００円に戻したとしても、仮に１０万人乗っても６００万円あれば収入減は穴埋めできる。間違いなく、高齢者のおでかけ支援になる。２千円のチケット事業も含めて、利用者側の立場にたった施策をする必要があるし、知恵をもっと出すべきだ。



患者家族への
自治体支援について

日本共産党

岡 博子



問 がん患者の３人に１人が６４歳までの方だと言われている。令和２年度当初予算で若年ターミナルケア支援助成制度が創設されたがその対象者は年間２名だと聞く。現在入院中のがん末期の市民は何人か。患者や家族が望む支援の要望調査を行ったか。

答 患者数については把握していない。大阪府ががん患者の悩みやニーズの実態調査をしており、８割が経済支援や社会保障制度の情報を求めているとわかっている。

問 ６４歳までの生計を担っていた方が入院となると経済的負担は大きい。又退職者の４割は、職場に迷惑だ等と考えがんの治療開始までに退職という実態もある。例えば年収７００万円の方が国民健康保険の制度を利用した場合、医療費はいくらになるか。

答 医療費が月１００万円の場合、自己負担額は月額８７，４３０円となる。

問 高額な医療費は、患者や家族にとって大変な負担だ。負担軽減となるよう予後半年と診断されたら医療費等を助成する制度を創設する考えはないか。

答 現時点では助成制度創設の考えはない。

要望 今和泉市は１８歳までの子どもの医療費助成をめざしている。そうであれば、人生の最期の半年の暮らし方についても少しでも納得のいく毎日が送れるよう、医療費の助成制度創設を強く要望する。



待機児童対策
パークＰＦＩによる
魅力創出

大阪維新の会

飯阪 光典



問 待機児童解消については、施設整備とともに保育士確保が必要であるが、一方で入所申込期間中に随時、保護者に園別歳児別の申込状況を情報提供することで希望園の分散が図れ、待機児童の解消に繋がるのではないか。

答 一部の園への集中は緩和される可能性はあるが、民間園での保育士配置計画等に影響を及ぼす等課題もある。

要望 情報提供は、保活をスムーズにし、子育てと仕事の両立ができる環境が整う。定住促進やさらに待機児童対策の面からも入所選考過程で随時行うことを要望。

問 ２つ目の質問として、パークＰＦＩの活用により本市の公園への「カフェ・レストラン」の設置の可能性について見解は。

答 民間事業者へのヒアリング結果から、元々の集客力や駐車場整備、公園本来の効用増進等に課題がある。

要望 吹田市の千里南公園、高槻市の安満遺跡公園で本制度を活用した公園の活性化が図られている。駐車場に関しては、民間駐車場の活用も可能である。本市においても、可能性のある公園の有効活用を行い、新たな魅力を創出し、同時に、その収益により行政負担の軽減を図ることを要望。

その他の質問項目

・空家バンクの活性化について



自殺予防対策
について等

公明党

末下 広幸



問 自殺予防対策の取り組み及びゲートキーパーの養成について伺う。

答 自殺対策基本法に基づき、「いのち支える和泉市自殺対策行動計画」を策定し、関係機関との連携・協力のもと、すべての市職員並びに関係課が一丸となり自殺対策に取り組む。ゲートキーパー研修を11回開催し、市職員をはじめ、市民、教職員、相談支援に携わる方を対象に実施。今後はスキルアップにつながる研修を充実させる。

要望 「こころの体温計」は心の状態を確認するよい機会となり、相談窓口等の必要な情報が得られるので、市民の方には積極的に活用していただくよう周知願う。

問 昨年12月に発生した、システム障害について伺う。

答 住民票や印鑑証明の各種証明書の発行ができない状態になった。

問 自治体クラウドの導入について伺う。

答 メリットとして、セキュリティに関する費用分担や庁舎が被災した場合にも業務が可能で、コスト削減につながる。自治体クラウドの参画に向けて検討する。

要望 自治体クラウド導入は地方財政措置として、特別交付税の対象になっており、コスト削減、約3割が見込める。今回のシステム障害を教訓に自治体クラウドの実施を求める。



障がい者スポーツ
への支援について
他1点

明政会

スベル・デルフィン



問 障がい者スポーツ選手への支援制度は。国際大会に出場する選手を対象にスポーツ振興奨励費を交付している。

問 体育協会に加盟している連盟の中に、障がい者スポーツを種目とする連盟は。

答 現在のところ、加盟はない。

意見 障がい者スポーツに注視し、スポーツの普及進行に努めて頂きたい。

問 計画変更となったSゾーンに予定されていた野球場の代替施設は。

答 今後様々な候補地を含め検討を進める。

問 富秋中学校区等まちづくり構想の中で再編集約により生じる敷地に武道場は。

答 現段階では武道場単独新築予定はない。

意見 鍛錬の場として武道を行う市民が一定数いる。武道に触れる場作りが必要。既存の体育館機能の確保をし、武道を行えるスペース確保の検討をして頂きたい。富秋中学校区等まちづくり構想の中で再編集約により生じる敷地については原則売却と聞いているが、公共施設の建設に際しては用地確保の困難さを痛感している。簡単に売却する事を考えず、例えば「池上小学校跡地の敷地については広場機能等の地域利用や民間事業者への売却又は貸付」と示している。各々と調整し広場機能の確保に努めて頂きたい。



新型コロナウイルス
感染対策について

明政会

坂本 健治



問 今回、本市においても新型コロナウイルス感染者が発生し、行動自粛お願いしている中、感染者報道で多くの無責任なフェイクニュースや噂が流れ、市内各所で大変混乱し私の所にも問い合わせが多いが、市や大阪府の対応はどのようなになっているかお聞きする。

答 大阪府と市の役割については、基本的に大阪府は医療提供体制の確保、罹患者の対応、感染症対応で、市の役割は市民への注意喚起等となっている。

問 今回先の答弁でもあったが、市の役割は注意喚起であるにも関わらず、2名の感染者の情報も市に対して大阪府からはホームページ並びに府の報道発表以外なく、感染者の住居や行動歴がわからず現状である。強く大阪府に情報を提供するように要望すべきと考えるが、市の見解は。

答 本市としては議員ご指摘の内容も含め本市の考えを大阪府に強く要望していく。

要望 大阪府に対してだけでなく市としても今後の対応について、全力で取り組んでもらい一日も早く鎮静化することを望む。

その他の質問項目

- ・少子高齢化・人口減少社会が本市に与える影響について
- ・緊急防災・減災事業債について他1問

5 件の意見書を可決

各関係大臣及び大阪府知事へ送付しました。

- ・大規模災害時の防災・減災・縮災対策のために必要な施設整備等に活用できる「緊急防災・減災事業債」の期間延長を求める意見書
- ・中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書
- ・災害現場の最前線で人命救助、支援活動に尽力する自衛隊の人員確保のためのさらなる待遇改善を求める意見書
- ・天皇皇后両陛下ご臨席のもと都道府県ごとに毎年各地で開催されている「全国豊かな海づくり大会」の大阪開催を求める意見書
- ・妊産婦の医療費助成制度の創設を求める意見書

議会の情報を発信



◇市議会ホームページ

・議会中継

本会議や委員会の様子をライブ中継しています。録画映像は会議終了から3日程度でご覧いただけるようになり、1年間見ることができます。

・一般質問・大綱質疑要旨

議員が行う質問項目を定例会ごとに掲載しています。

・会議録速報版

会議を開催してから約1ヵ月後に校正前の会議録を公開しています。その後、正式な会議録を公開した時点で速報版は削除します。

・会議録の検索

過去に開催された会議内容を発言者やキーワード、開催年などで検索することができます。

・議員名簿（個人詳細ページ）

各議員の詳細を見ることができます。



市議会ホームページはこちら。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

令和2年第2回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間に変更される場合がありますので、詳しくは電話：0725-99-8154 議会事務局へお問合せください。

日 程	会 議	場 所	開会時間
6月 3日(水)	議会運営委員会	委員会室	午後 1 時
6月10日(水)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
6月15日(月)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
6月16日(火)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
6月17日(水)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
6月19日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後 1 時
6月25日(木) ～29日(月)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
6月30日(火)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時

令和2年第1回定例会・委員会の傍聴

新型コロナウイルス感染症予防のため、3月5日以降の傍聴自粛にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

	開催期間	傍聴者	ライブ映像 中継閲覧者(※)
本 会 議	2月20日 ～3月25日	1人	51人
常任委員会	2月26日 ～2月28日	6人	59人
予算審査 特別委員会	3月5日 ～3月11日	0人	106人

※ 開催日ごとのライブ中継閲覧者数のうち、最大アクセス時の人数を累計したものです。

市議会へのご意見をお聞かせください

市民の皆さまにとって、より身近で開かれた市議会となるようご意見を募集しています。電話、ファックス、市議会ホームページの「ご意見・お問い合わせ」フォームなどからお寄せください。

〒594-8501

和泉市府中町二丁目7番5号

和泉市役所 議会事務局 総務課

電話：0725-99-8154 (直通)

FAX：0725-43-4525

HPアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

